

請求の範囲

- [請求項1] 物体側の面から入射した光束を眼球側の面から出射させ、眼を介して網膜上に収束させるベース領域と、
ベース領域と接するデフォーカス領域であって、デフォーカス領域の少なくとも一部を通過する光束が発散光として網膜に入射する性質を持つ複数のデフォーカス領域と、
を備え、
眼鏡レンズの中央寄りに配置されたデフォーカス領域では主として錐体向けの大きさの光斑をもたらす光束の広がり角（*Defocus Spot Angle : DSA*）が設定され、眼鏡レンズの周辺寄りに配置されたデフォーカス領域では主として桿体向けの大きさの光斑をもたらす光束の広がり角（*Defocus Spot Angle : DSA*）が設定された、眼鏡レンズ。
- [請求項2] 眼鏡レンズの中央部から周辺部に向かう方向に、デフォーカス領域の *DSA* は増加する、請求項1に記載の眼鏡レンズ。
- [請求項3] 眼鏡レンズの中央部から周辺部に向かう方向に、デフォーカス領域の *DSA* は5.0～50.0分の範囲で変化する、請求項1又は2に記載の眼鏡レンズ。
- [請求項4] デフォーカス領域は、眼鏡レンズ上において、全デフォーカス領域の80%以上の数のデフォーカス領域での中心箇所でのデフォーカスパワーが等しい一方、眼鏡レンズの中心部から周辺部に向けてデフォーカス領域が大きくなる、請求項1～3のいずれか一つに記載の眼鏡レンズ。
- [請求項5] デフォーカス領域は、眼鏡レンズ上において、全デフォーカス領域の80%以上の数のデフォーカス領域での大きさが等しい一方、眼鏡レンズの中央部から周辺部に向けてデフォーカスパワーが大きくなる、請求項1～3のいずれか一つに記載の眼鏡レンズ。
- [請求項6] 全デフォーカス領域のうち少なくともいずれかは軸回転対称形状で

あり、

軸回転対称形状のデフォーカス領域において、中心箇所から周辺箇所に向けて屈折力が増加する、請求項 1 ～ 5 のいずれか一つに記載の眼鏡レンズ。

[請求項7] 全デフォーカス領域の 80% 以上の数のデフォーカス領域での中心箇所の屈折力は等しい、請求項 1 ～ 6 のいずれか一つに記載の眼鏡レンズ。

[請求項8] 眼鏡レンズは近視進行抑制レンズである、請求項 1 ～ 7 のいずれか一つに記載の眼鏡レンズ。

[請求項9] 物体側の面から入射した光束を眼球側の面から出射させ、眼を介して網膜上に収束させるベース領域と、

ベース領域と接するデフォーカス領域であって、デフォーカス領域の少なくとも一部を通過する光束が発散光として網膜に入射する性質を持つ複数のデフォーカス領域と、

を備え、

眼鏡レンズの中心部から周辺部に向けてデフォーカス領域が大きくなる、眼鏡レンズ。